

グアテマラ内政・外交(2009年1月)

平成21年2月
在グアテマラ日本国大使館

1. 概要

内政面では、7日、コロン大統領は治安関連諸機関の制度強化を理由に内相交代を発表し、14日、政権発足一年目の教書演説を行った。

治安面では、国家文民警察(PNC)が纏めた2008年犯罪統計から、誘拐事件の多発、殺人及び傷害事件増加等の傾向が示された。

外交面では、コロン大統領がパナマで開催された組織犯罪対策関係国首脳会議へ出席したほか、当国において第2回非同盟諸国(NAM)MDGs 女性の地位の改善に関する閣僚級会合が開催された。

2. 内政

(1) 与党UNE離反議員関連動向

6日、昨年12月にバルディソン議員に率いられ、党執行部の方針への不満を理由に与党UNEを離党した同党議員10名が、「自由民主会派」(LD: Bloque Libertad Democratica)の結成を発表した。翌7日にはバルディソン議員も「自由民主会派」へ合流する旨発表した。

(2) 内相交代

7日、コロン大統領は、治安関連諸機関の制度強化を継続するためとして、ヒメネス内務大臣を国家治安審議会長官として任命し、ガンダラ大統領府行政調整担当庁(SCEP)長官を新内務大臣として任命した旨発表した。

(3) コロン大統領施政1年目の教書演説

14日、コロン大統領は政権発足1年目の年次教書を国会に提出した後、治安情勢、経済情勢、社会連帯審議会等に関する教書演説を一時間半弱に亘り行った。なお、コロン大統領の演説開始直前には、野党愛国党(PP)及び与党UNEを離党した議員で結成された自由民主会派(LD)議員が、大統領の教書演説において真実が述べられることを望むと主張しつつ国会から退場する場面もあった。

(4) 国会の開会

14日、国会で新旧執行部の交代が行われ、新執行部として、アレホス議長(与党国民希望党(UNE))、バリオス第一副議長(国民大連合(GANA))、クレスポ第二副議長(グアテマラ共和戦線(FR G))、レシノス第三副議長(グアテマラ会派(BG))が就任した。

(5) ポルティージョ元大統領公金横領容疑問題関連

31日付当地各紙は、当国裁判所が検察に対し、ポルティージョ元大統領、元夫人、長女及び関係者等の計37の銀行口座を公金横領の容疑で捜査するための許可を下した旨報じた。元夫人や長女がルクセンブルグ、フランスに有する口座(約2百万ユーロ)については、台湾政府の贈与を受けた「和平のための図書館基金」からの横領容疑などが掛けられている。

3. 治安情勢関連

(1) 2008年の治安統計

国家文民警察(PNC)が纏めた2008年犯罪統計によると、同年の治安情勢について、誘拐事件は213件(前年比115件増)、殺人事件は6,292件(同511件増)、傷害事件は6,960件(同722件増)と、いずれも増加傾向が示された。また殺人事件の内、銃器による殺人が全体の83%(5,237件)を占めた。

(2) 治安改善を求める大規模デモの実施

10日、カトリック教会の呼びかけに応じ、グアテマラ市において信者を中心とする市民1万人以上が平和行進(Marcha por la Paz)と称する治安改善を求める大規模なデモに参加した。ケサダ枢機卿は行進終了後の平和を祈るミサで、「本日の行進は、国内で治安改善が必要とされていることを如実に示すもの」、「2008年は最近の当国の歴史の中で最も治安が悪化した年となった」等述べた。

4. その他：大規模な山の斜面崩落事故の発生

4日、アルタ・ベラパス県サン・クリストバルにおいて山の斜面が崩壊し、約1万トンの土砂が崩落する事故が発生し、38名が死亡したほか、100~140名が行方不明となった。

5. 外交

(1) ケント加国務相の当国訪問

14日及び15日、カナダのピーター・ケント国務相(外務、アメリカ地域担当)は中米諸国歴訪の一環として当国を訪問した。同国務相は、ロダス外相、カバジェロス経済大臣等との会談を行ったほか、ソロラ県における総額1千万ドルの農村経済開発プロジェクト及びCICIG(グアテマラにおける無処罰問題対策委員会)の活動に対する支援を表明した。

(2) コロン大統領、組織犯罪対策関係国首脳会議への出席

15日、コロン大統領はメキシコ、コロンビア及びパナマの各国大統領と共に、パナマで開催された組織犯罪撲滅を目指した共同の対策を協議する会議に出席した。

(3) 第2回非同盟諸国(NAM)MDGs 関連閣僚級会合の開催

23日及び24日、当地において第2回非同盟諸国(NAM)ミレニアム開発目標(MDGs)女性の地位向上に関する閣僚会合が開始され、アジア・アフリカ地域を中心とする計85ヶ国の代表団が出席した。同会合終了に際しては、「女性に対する暴力の防止、撲滅」、「母子死亡率の減少」、「女性の非識字率の減少」等を目指すことで合意された。同会合に出席したキューバのルケ外相は、「先進国による支援など政治的意思の欠如により目標達成にはほど遠い」等述べた。

(4) 国連特別報告官の当国訪問

25日から30日まで、Despouy 国連(裁判官及び弁護士の独立に関する)特別報告官が当国を訪問し、当国における弁護士及び裁判官の状況について、政府、最高裁判所、検察、市民社会関係者等への聴取等を通じ調査した。Despouy 報告官は30日、今次調査に関する暫定的報告として、「グアテマラでは、構造的な問題及び司法機関関係者に対する圧力を背景として司法システムが十分に機能しておらず、無処罰の状態が広範に呈されている。殺人事件100件当たり判決が下される事案が僅か2件程度という懸念されるデータも示されている。」等述べた。